

第5学年西組 家庭科学習指導案

「かしこく選んで買物上手 ～考えよう 物やお金の使い方～」

学習指導者 山本 千穂

1 学級（34名）の実態

（1）働きかけを行う自己調整力に関する実態

〔諦めずに試行錯誤する力〕

家庭科の時間に、「一つのこと諦めずに取り組んでいる」と答えた子供は30名、「失敗したときに他のやり方はないかなと考えている」と答えた子供は29名いたが、実際には、裁縫で困ったときに投げ出したり、友達や教師に代わりにやってもらったりする子供が多く、諦めずに取り組めていない姿も見られる。また、調理の学習では「ゆでた野菜が固かったな」などと問題に気付いた際、改善方法を考えたり実際に試したりした子供は3名で「おいしかった」などの感想で終わらせてしまう子供がほとんどであった。

（2）教科に関する学級の実態

買物の経験についてほとんどの子供たちが「ある」と答えているが、消費生活に関する学習は本題材が初めてである。自由記述によるアンケートの結果から、欲しい物を買うときに値段を重視する子供が24人、見た目重視する子供は19人いたが、マークや環境への影響にまで目を向けると答えた子供はいなかった。調理や裁縫の学習で学んだことを家でもやってみたくて取り組んだ子供は20人いたが、よりよい生活を考えて取組を工夫した子供は9名であった。

本題材で習得させたい「諦めずに試行錯誤する方法」

場面を具体的に想起したり、友達の考えを聞いたりして複数の観点で比較する

2 本題材で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

題材の始めに、「買ったけどあまり使わなかった」「買物は家族に任せていた」といった買物についての経験を想起した子供たちは、「無駄なく買物が出来るようにしたい」「自分でも買物ができるようになりたい」といった問題を見だし、「自分で上手に買物ができるようになろう」という課題を設定する。そしてその課題解決に向けた共通の教材として、自主勉強用のノートを設定し、買う計画を立てて、実際に買って使い、自分の実践を評価・改善する活動を行う。買物の仕組みや消費者の役割を知った子供たちは、ノートの実物を手に取って調べたり、友達と話し合ったりして、それぞれのノートの情報を収集・整理しながら、買いたいノートを選んでいこう。そして、友達を選んだノートとその理由を聞いたり、使用する場面を具体的に想像したりして、優先する観点を考えながら、より自分の使い方に合ったノートを再考していく。例えば「夏休み、1日2ページは使うくらい勉強を頑張ろうと思っているよ。だからたくさん使えるノートがいいと思っていたよ。だから1冊あたりの値段が安い5冊セットのノートがいいな」「確かに、値段は安い方がいいよね。でも、私はいつも目当てや時間を書き忘れてしまうし、好きな見た目だとやる気が出るから、少し高いけどBのノートの方がいいな」「なるほど。お気に入りのノートだと最後まで大切に使えるね。使う時のことを考えると目当ての欄があった方が便利かもしれないな」「そうだね。最後まで大切に使うと環境にも良いよ」などと自分の使い方に合う観点やそのノートのよさを見直していく。そして、実際にノートを購入して使用してみた後、自分の買物の実践がどうだったかを振り返り、よかった点やもっと改善できそうな点を考えることで買物への自信を高める。さらに、他の物を買うときの計画を立て、商品を選び、実際に使った振り返りも行う。将来よりよく生活するために、授業で習得した方法を基に自分で次の買物を進めていくことで、経験を繰り返しながら、上手に買物ができる消費者へと成長していくだろう。

3 題材構成の工夫

(1)【「魅力的な題材の目標」を子供たちと共有する場の設定】①

題材の導入で、買物についての今までの経験や4月に子供たちが考えた「家庭科を通してなりたい自分」を想起させたり、買物が生活する上で必要な行為であることを確認したりして、「自分で上手に買物ができるようにしよう」という課題を設定する。そのために何が必要かを話し合い、「買物で気を付けることを知りたい」「もっと買物の経験を増やしたい」といった子供たちの意見から題材の計画を立てていく。買物の経験を増やすための共通教材として、自主学习で使うノートを選んで購入し、使ってみて振り返る活動を設定し、しっかりと共有することで、見直しをもって学習を進めることができるようにする。

(2)【「取り組む方法を選択して、自分で学びを進める時間」の設定】⑦

第3時から第5時で、自主勉強ノートを買う買物計画（目的の確認や情報の収集・整理、買う物の選択）を立てるための知識・技能が身につくようにする。また、第6時ではその買物の実践を振り返り、他の買物でも気を付けたいことについて考える。第7時では、その知識や振り返りを活用して、自分で買いたい物の買物計画を立てる時間を設定する。その際、買おうと思っている物について友達に相談するだけでなく、インターネットで調べる、実物を見るなど情報を得る方法を選択し、必要に応じて買物計画シートを用いながら、自分で学びを進められるようにする。

買物計画シート◎

①計画を立てる
 買う物 () 5年 組 ()
 予算 (円) ()
 合計 (円) ()

②情報を集める・整理する
 インターネットで調べる
 直接お店で商品を見た
 友達やお父さんに聞いた
 家の人や買ったことのある人に聞いた
 ちらし・雑誌・テレビのCMを見た
 その他 ()

③選ぶ・買う
 自分が決めた方法で買いました (複数でも)
 友達と一緒に行った
 家族と一緒に買った

④使ってみて振り返り
 (良かったところは…、良くなかったところは…、次買うときは…)

【買物計画シート】

4 題材計画と働きかけ (本時 5/7)

次	学習の流れ	働きかけ
一	① 買物の仕方を振り返ろう これまでの買物の経験を振り返って、問題点を見だし、「自分で上手に買物ができるようにしよう」という課題を設定する。上手な買物とはどのようなことかを共有し、買物が上手になるための学習の進め方を考え、共通の教材としてノートを扱うことを知る。	【生活にカエルカード、ファースト・ラストアイデアカードタイム】②⑤ 想起 ②「よりよい考えを作るにはどうすればよかったかな」と問いかける。事前に書いた生活にカエルカードで自分の買物経験を思い出したり、ファーストアイデアカードを基に友達と交流して友達の良い考えを取り入れたりするとよいことを想起させる。
	② 買物で気を付けることについて知ろう 売買契約が成立する場面や買った物の使い方について話し合い、買物の仕組みや、消費者の役割について知る。自分の自主勉強ノートの使い方について振り返る。	活用 ⑤自分で買いたいノートを選択してファーストアイデアカードに書く。それを学習支援アプリで共有し、必要に応じて友達と交流したり自分の生活を想起したりして再考できる環境を用意する。
	③ 買物の手順を確かめよう 買物を想起して、必要な手順を確認する。自主勉強用ノートとして、どのようなノートが自分の使い方に合うか考える。	実感 ②売買契約について、自分の経験のみで考えた時に比べて友達の経験も知った方が、多くの観点で買物について考えられたと気付いている発言を価値付ける。
	④ ノートの情報を収集・整理しよう 5種類のノートを見て比較しながら値段や見た目、ページ数などの観点で情報を収集し、表に整理する。	⑤必要に応じて、自分で友達の考えを取り入れたり、自分の生活を具体的に想起して考えたりしたことで、買いたいノートについて深く考えられたことを称賛する。さらに、ファーストアイデアカードを書いた時より多様な観点で、自分に合うノートを選べたことを価値付ける。
	⑤ 買いたいノートを決めよう 友達の考えを聞いたり、自分が自主勉強ノートを使う場所や使い方を考えたりして買いたいノートを決定する。	
	⑥ 使ったノートを振り返ろう 計画して購入したノートの活用状況などについて振り返り、自分の買物を評価・改善する。	
	⑦ 自分の買いたい物の計画を立ててみよう 自分の欲しいものを実際に購入する買物計画を立てる。	

5 本時の学習

目 標	自分が使いたいノートについて、自分の生活場면을想起したり友達の考えを知ったりした上でもう一度吟味し、より納得して購入するノートの選択ができる。
--------	---

学習活動と働きかけ	主な子供の意識			
見 通 し	1 学習課題を確認する。	<p>前の時間はノートの情報を整理してたくさんの観点を見付けたよ。</p> <p>ノートをじっくり見ると、今まで気付かなかった違いも見付けられたね。</p> <p>今日は情報の整理の次だね。自分に合うノートを選ぼう。</p>		
	自分の買いたいノートを決めよう			
行 動	2 ノートを決める。 【生活にカエルカードファースト・ラストアイデアカードタイム】 ・1人で ・友達と	生活にカエルカードで、自分のノートの使い方を振り返ったね。		
		いつも使っている、1冊50円のAのノートが安くてお得だ。	表紙がかわいいノートを1冊買おう。だからBのノートかな。	どうしよう、集中力がアップするCか、ページの多いDか迷うな。
		同じ条件でも違うノートを選んでいる友達もいる。なぜだろう。他のノートの方が良いのかな。友達がいいと思うノートの理由を知りたいな。		
		僕はAのノートを値段の観点で選んだよ。たくさん使いたいから5冊も入っていて安いAにしたかったんだ。	私はBのノートを見た目の観点で選んだよ。やる気が出るノートが欲しかったから、かわいいBにしたよ。	Cは集中できそうだし、Dはたくさん書いても1冊にまとめられるし、どちらかで迷っているよ。友達はなぜCなのかな。
		なるほど、好きな見た目だとやる気が出るといのは考えていなかったな。お気に入りのノートだと最後まで大切に使えるね。丁寧に最後まで使ってみるのもいいのかもしれない。	確かに、Aは1冊が安くてお得だよ。たくさんノートを使いたいならぴったりにくいね。私はどんどんたくさん書くよりは、丁寧にまとめるのが好きだな。	そうか。Cには環境にいいマークもついているんだね。どちらも勉強しやすくなるためのノートに向いていて迷っていたけれど、それだったら私も、環境にもいいCの方にしよう。
		僕は〇〇さんの話を聞いて、お気に入りのノートでやる気が出るBにしたよ。大切に使いたいな。	私は何冊もは使い切れないから、やっぱりBが良いと思ったよ。値段も30ページで200円ならいいと思うな。	私は、CとDで迷っていたけれど、友達の考えを知って環境にもいいCが良いと思ったよ。環境の事を考えるのも大切だね。
		情報を比べて、より自分の目的に合って、いろいろな観点から納得できるノートが選べたよ。人によって、大切に使う観点が違うんだね。		
振 り 返 り	3 振り返りをする。	<p>生活を振り返ったり、友達の話を聞いたりしてよりよい考えが作れたよ。</p> <p>自分の生活を振り返ってみると、自信をもってBに決められたよ。</p> <p>次は、いよいよノートを買って使ってみるんだ。うまく選べているかな。</p>		
	悩んでいたけれど、友達の理由を聞いて、Cのノートのよさに気付けたよ。			
	次は、いよいよノートを買って使ってみるんだ。うまく選べているかな。			

評 価	必要に応じて、使用場面や自分の生活を具体的に想像したり、友達がノートを選んだ理由を取り入れたりして、購入する自主勉強ノートについて再考している。 【方法：発言、様相、記述】
--------	--

6 本時の詳細

～見通し～ 学習活動1

大型テレビモニターに子供と共有した題材の計画や、買物の手順を提示する。前時まで、買物計画の「情報の収集・整理」までできたことを確認し、「今日は何を考えるのかな」と問う。本時では実際にノートを「選ぶ」段階に進むことを子供と確認し、本時の学習課題を設定する。また、前時に整理した5種類のノートの観点（値段、見た目、ページ数、マーク、機能）をもう一度確認しながら黒板に貼り、それぞれのノートの特徴を想起できるようにする。

◎ 5W ◎
買物の順序

(1) 買う物の計画を立てる


- ①何を買うか決める
- ②目的・予算を確かめる
- ③情報を集める・整理する

(2) 買って使う

- ④選ぶ・買う
- ⑤使う(食べる)

(3) 振り返っていかす

- ⑥振り返る



【買物の手順】

～行動～ 学習活動2

事前に、これまでのノートを使ったときの経験や、夏休みに自分が自主勉強ノートを使う場面などを想起しておく【生活にカエルカード】。本時は、学習支援アプリを用いて、自分の考えやその理由を記述し、提出して全体で共有したりできるようにしておく【ファーストアイデアカードタイム】。この時、1冊に決められず迷っている場合は迷っていることをカードに書いて共有してもよいことを伝える。自分のカードを提出した後は、一覧で友達のカードを見て、意見の異同が確認できるようにする。その中で、どうしてそのように考

ウィンパスノート

を使うとき、自分は



- ・おしゃれで楽しく使えた
- ・消しやすくして書きやすかった



- ・夏休みは家かおばあちゃん家です。
- ・夏休みは1日2ページはする。



【生活にカエルカード】

ラストアイデアカード

ファーストアイデアカード
選んだノート A
選んだ理由
1冊の値段が安くてお得だから。たくさん使えるから。

理由に使った観点に○
()

選んだノート A
(変えた・~~変えなかった~~)理由

友達が「見た目が良い方がやる気が出る」と言っていて、たしかになと思ったけれど、やっぱり自分にとっては1冊あたりが安いAがいいと思ったから。5冊セットだから、ページ数だと300ページもあって、夏休みたくさん勉強したいと思っていた自分にぴったりだし、環境にいいマークも付いていていいなと思った。

理由に使った観点に○

(見た目・ページ数・マーク・機能)

【ラストアイデアカード】

えたのか更に詳しく知りたいと思った友達のところへ話を聞きに行ったり、友達の理由を読んだ上でもう一度実物を確認したりできる時間を設定する。自分の生活を具体的に想起しながら発言できている子供を称賛したり、友達がノートを選んだ理由を知って迷っている子供に「自分だけで決めたとときと違う観点のよさが見えてきたんだね」と複数の観点から考えていることを価値付けたりする。また、友達の意見を知って、自分のノートをどれにするかについて悩んでいる子供には、「あなたはどんなノートが欲しいと思っていたの」と問いかけて自分のしたい使い方と比べられるようにしたり、「友達の理由のどこが魅力的だと思ったの」と尋ねて今まで重視していなかった観点を吟味できるようにしたりしながら、再考ができるようにする。学習支援アプリで再度、買いたいノートを決めてその理由を記述できるようにしておく。選んだノートごとにカードを色分けしたり、検討した観点を明記したりすることができるようにしておき、自分の考えの変化や広がり、深まりが視覚的に捉えやすくなるようにしておく【ラストアイデアカードタイム】。

～振り返り～ 学習活動3

ラストアイデアカードの下に、本時の振り返りを記述させ、買いたい物を決めるときには、生活の具体的な場面を想起したり、友達の考えを知ったりして複数の観点で考えるとより上手に選ぶことができることを実感しやすくする。学習支援アプリでラストアイデアカードを提示しながら振り返りを全体で交流する。その際、「自分は使うときに○○だから…」と自分の生活を具体的に想起して選んだり「兄弟がいて…」など家族のことを考えたり「○○さんの理由を聞いて、確かに…」と友達の考えを参考にして考えたりしている記述を取り上げる。そして自分が生活の中でノートを使っている場面を具体的に想像したり、友達の意見を見たり、聞いたりしたことで複数の観点から再考し、より納得できる決定ができたことを「友達の考えも知って、1人で考えた時よりも、もっとたくさんの観点から納得できる選択になったね」と価値付ける。